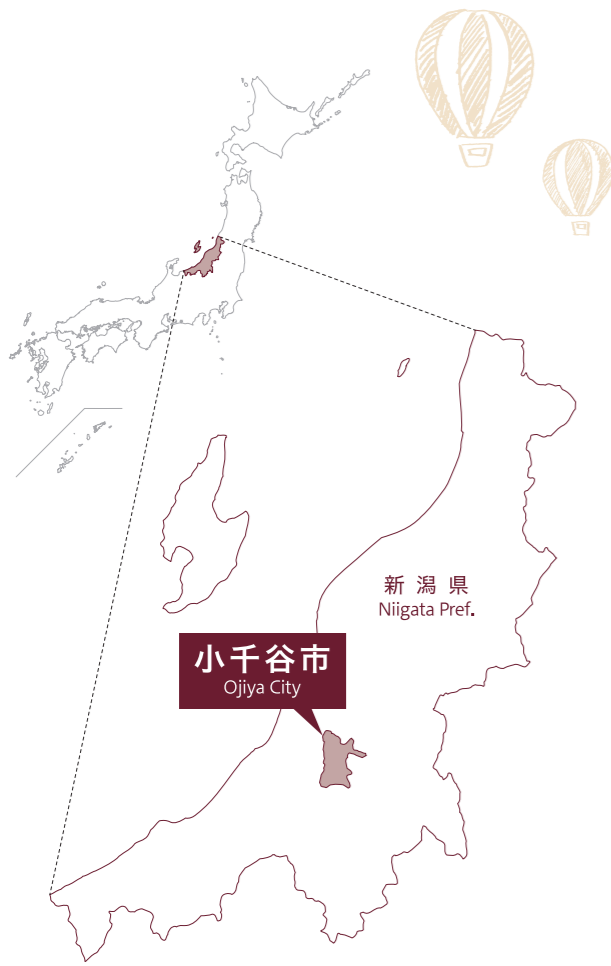
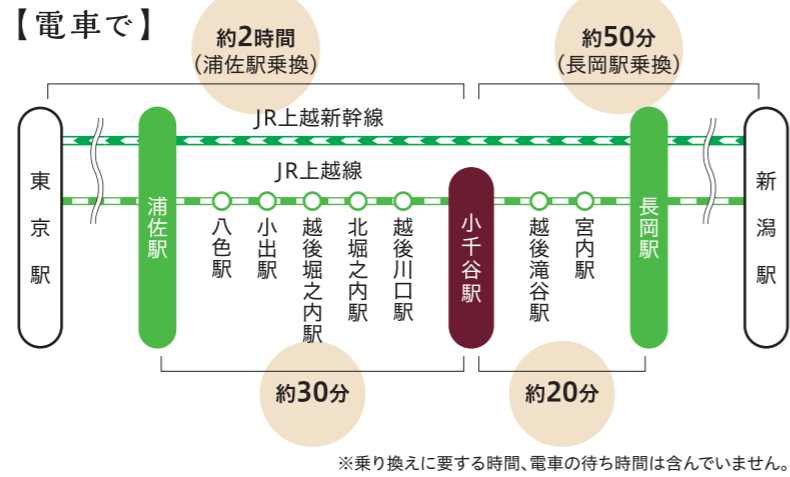


# おぢや 小千谷市はここです

新潟県のほぼ中央、日本一の大河・信濃川により形成されたまち「小千谷」。冬の豪雪とその雪解け水がもたらす美しい自然や田園のなかで、小千谷特有の文化や工芸品を育み、多彩な伝統産業が息づいています。

The city of Ojiya is situated in more or less the center of Niigata Prefecture, and was formed by the Japan's longest river—Shinano-gawa. The beautiful natural environment and farmland that owes its existence to heavy winter snowfalls and their subsequent snowmelt have led to culture and crafts that are unique to Ojiya, and a variety of traditional industries survive.



【おぢやイメージキャラクター】  
よし太くん  
Ojiya city mascot : Yoshita-kun

「牛の角突き」の角突き牛がモチーフで、勝負を仕切るときに掛け声「ヨシター」が名前の由来。「よし太」は方言で、標準語では「よくやった」「よくできた」にあたります。



【市花】  
すいせん  
City flower : Daffodil

すいせんは、雪消えとともに芽生え、春を告げる花です。また、冬の寒さに負けない生命力の強い花として、多くの家庭で栽培され、市民に親しまれています。



発刊によせて

小千谷市長  
大塚 昇一  
Mayor of Ojiya  
Shoichi Otsuka

みなさんは「小千谷」と聞いて、何を思い浮かべますか。  
「泳ぐ宝石錦鯉」「ユネスコ無形文化遺産小千谷縮」「世界最大級の花火四尺玉」「へぎそば」「中越地震」。中には食べ物の「おぢや」を思い浮かべた方や、何も思いつかず読み方すらわからない方もいらっしゃるかもしれません。

小千谷市は、日本一の大河「信濃川」による河岸段丘が特徴的な田園都市です。雪深い地域でもあり、信濃川や豪雪の恩恵である豊かな水資源は、魚沼産コシヒカリや錦鯉、小千谷縮など、自然の恵みを生かした特産品を生み出しました。近年、錦鯉は日本を代表する和のテイストとして世界へ輸出されており、クールジャパンの一翼を担っています。また、雪は我慢強く、勤勉な人間性を培い、その職人気質は精密機械や電子部品産業への技術力として生かされ、世界に誇る本市の基幹産業に発展しています。

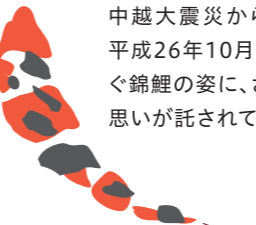
平成16年10月に発生した新潟県中越地震では大きな被害に見舞われましたが、現在は復旧・復興を成し遂げ、その経験と教訓を全国に発信しています。

この市勢要覧をととして、「小千谷」の名前や読み方だけでも記憶にとどめ、当市に興味を持っていただければ幸いです。

## 【市の魚】 錦鯉

Official city fish: Nishikigoi

中越地震からの復興の象徴として、平成26年10月に制定。優雅に力強く泳ぐ錦鯉の姿に、さらなる復興と飛躍への思いが託されています。



## 【市章】 City emblem

雪国にちなみ外郭を雪の結晶で表わし、中央に「小」の字を図案化し、円でまとめてあります。克雪都市・小千谷市が市民の和と協調により大きく発展することを象徴しています。



## 目次

統計データ	18
おぢやのあゆみ	17
おぢやに残る史跡	16
ふれあい、にぎわい、暮らし続けたいまちづくり	15
自然を活かした調和と安心のまちづくり	14
暮らしやすいまちづくり	13
魅力ある都市空間創出	12
産業のまちづくり	12
創造性と活力あふれる健康長寿で支えあうまちづくり	11
子育てにやさしく人を育み文化の香るまちづくり	10
小千谷市の将来像	09
おぢや施設ガイド	08
おぢやの四季彩	07
おぢや宝じまん 錦鯉／牛の角突き／片貝花火 おぢや風船一揆／からくり万灯 小千谷縮／へぎそば	04

## 中越地震を乗り越えて Overcoming the Chuetsu earthquake

平成16年10月23日、突然の大地震が小千谷市をはじめとする新潟県中越地域を襲いました。最大震度7を記録したこの中越地震によって多くの命が犠牲となり、人々の営みやふるさとの引き裂かれてしまいました。

あの日から、市民はよりよい未来を信じて、復興の道を精一杯歩んできました。震災の経験を次世代へ継承していくとともに、復興の中で見つめ直した地域の宝や生まれた絆を大切に、市民一人ひとりが輝き、その輝きが持続するまちを目指して、これからも進みます。

On October 23, 2004, a massive earthquake with an intensity as high as 7 on the Japanese scale struck the Chuetsu region of Niigata Prefecture, in which Ojiya is located. Many lives were lost, and people's livelihoods and communities suffered disruption.

Ever since that day, the city has believed in a brighter future, and moved steadfastly toward reconstruction. Importance is also placed on passing on the experiences to the next generation, and on the treasures discovered and the connections forged in the region during the process of rebuilding. We will continue to move forward with the aim of enabling every citizen to prosper and becoming a city in which that prosperity is sustained.